

ぬまづ 市議会だより

ぬまづ

令和8年6月
第252号



沼津の名産「アジの干物」

令和8年度 予算のあらまし

- 一般会計・特別会計・企業会計の予算を可決しました …… P.2~4

市政について問う！

- 13人の議員が一般質問（代表質問）を行いました …… P.6~9

ピックアップ議会

- 「議第3号 和解について」を可決しました …… P.10

定例会の 主な内容

第12回(2月)定例会を、2月6日から3月17日までの40日間にわたり開催しました。この定例会では、市長から令和8年度の施政方針が述べられたほか、令和7年度関係議案及び令和8年度関係議案等63件、議員提出議案1件を審議し、議決するとともに、7件の報告を受けました。また、13人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。(P.6～9)

ここでは、令和8年度の一般会計、特別会計(4事業)及び企業会計(3事業)の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄う会計です。

会 計	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減率
国民健康保険事業	189億9,100万円	187億6,100万円	1.2%
土地取得事業	5,900万円	5,600万円	5.4%
介護保険事業	181億4,000万円	180億6,500万円	0.4%
後期高齢者医療事業	38億5,700万円	36億円	7.1%
合 計	410億4,700万円	404億8,200万円	1.4%

企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会 計	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減率
病院事業	129億3,400万円	128億5,300万円	0.6%
水道事業	67億5,900万円	63億5,700万円	6.3%
下水道事業	108億100万円	105億2,100万円	2.7%
合 計	304億9,400万円	297億3,100万円	2.6%

特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

問 国民健康保険事業における地域未来交付金を活用する事業の内容は。

答 本交付金は、地域の課題解決に資する取組に対して交付されることから、被保険者の利便性向上のために活用する。具体的には、24時間対応が可能な電話の自動音声案内により、電子申請へ誘導するなどの自動電話応答サービスを導入するほか、申請のたびに振込先口座の指定が必要であった高額療養費について、申請の簡素化を図るためのシステム改修を行う。

問 令和8年度の診療報酬改定が市立病院の経営に与える影響は。

答 診療報酬の改定により、

賃上げや物価高への対応が図られることや急性期医療に係る改定については、実績評価がより厳格化されることから、救急の受入れや重症患者対応など、急性期病院としての役割を確実に果たすことで患者1人当たりの単価は増加すると認識している。

問 市立病院における経営改善の取組は。

答 沼津市立病院経営改善実行計画に基づき、収入確保のための新たな取組として医療機器購入に当たってのクラウドファンディングや簡易型人間ドックを実施する。また、研究研修費については、全ての医師に対して研究・研修に必要な図書の実施を行い、厳

選して予算を計上したほか、コロナ禍以降、充実が図られているオンライン研修を積極的に取り入れることで旅費を削減するなど、研修の質を確保しつつ経費の削減に努める。

問 水道事業における予算編成に対する考え方は。

答 社会情勢の変化などにより、引き続き厳しい経営状況が見込まれている。このため、予算編成に当たっては、限られた財源の中、安全・安心な水道水を安定的に供給するとともに、想定される災害等にも備えるため、緊急性・重要性・安全性の観点から事業内容を十分に精査し、優先すべき事業に対して重点的に予算を配分している。

問 新たに下水道を整備するエリアは。

答 下香貫、吉田町、大岡、岡宮など人口が集中している地区を予定している。

問 下水道事業における資本的収入のうち、補助金が増額した理由は。

答 令和6年に発生した能登半島地震による下水道施設の大きな被害や令和7年に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の損傷に起因する道路陥没事故等を鑑みると、下水道施設の管理は重要な課題である。このため、国庫補助対象事業となる地震対策事業やストックマネジメント事業について、令和7年度よりも増額して対策を進める。

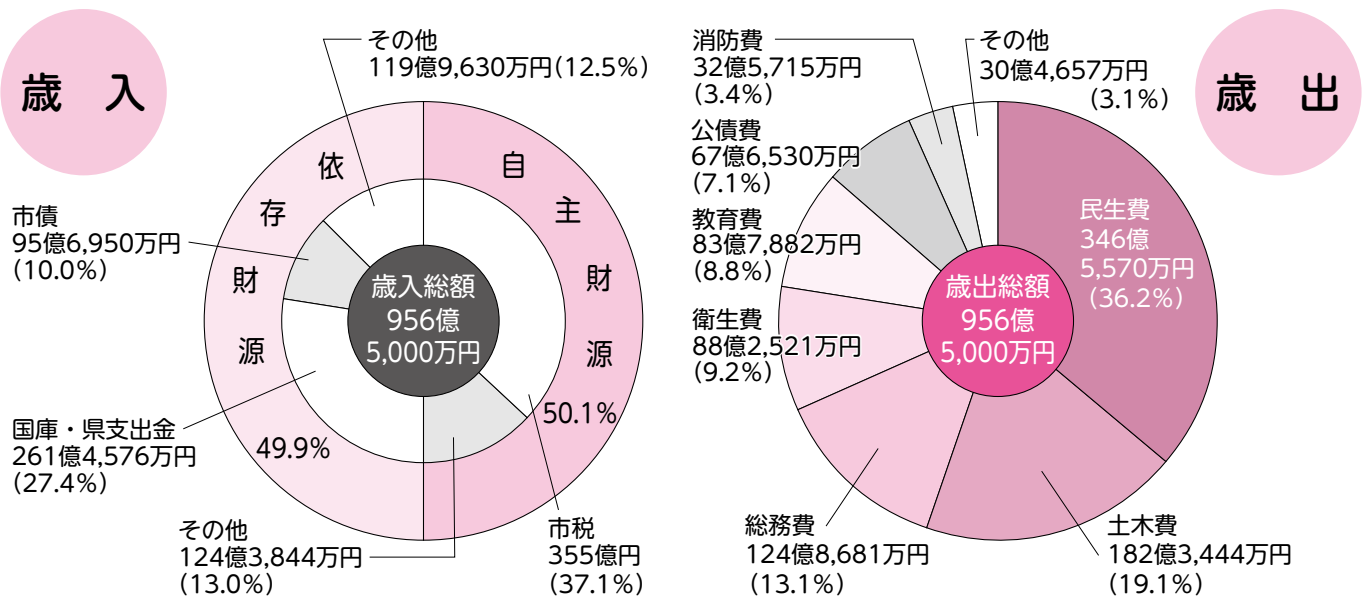
令和8年度予算を可決しました!

総額1,671億9,100万円

一般会計

一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

令和8年度予算額	令和7年度予算額	比較増減	増減率
956億5,000万円	956億円	5,000万円	0.1%



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 令和8年度が初年度となる後期推進計画の主要事業は、本予算にどのように組み込まれているか。

答 後期推進計画では、若者・女性に選ばれるまちの観点を取り入れ、「定住人口の確保」、「交流人口の拡大」、「産業の振興」、「安全・安心の確保」の4つをまちづくりの方向性として掲げ、主要事業として70事業を位置づけ、重点的・横断的に推進していく。

「定住人口の確保」については、女性活躍・男女共同参画推進事業や子ども家庭センター運営事業など30事業に約128億1,000万円、「交流人口の拡大」については、ぬまづ暮らし住み替え促進事業や観光プロモーション事業な

ど13事業に約28億6,000万円、「産業の振興」については、企業立地促進事業や産業間連携による経営基盤強化事業など7事業に約6億8,000万円、「安全・安心の確保」については、総合的治水対策整備事業やゼロカーボンシティNUMAZU 2050推進事業など20事業に約81億円を計上している。

問 歳入について、個人市民税の増を想定する理由は。

答 給与所得控除の引上げに伴い、非課税者が増えることで納税義務者数を2,000人減と見込むが、賃金の上昇等により、個人の所得の増加が見込まれることから、個人市民税の増を想定している。

問 地区センター整備事業の内容は。

答 愛鷹地区センターにおいて建築主体工事や太陽光発電システムの設置等を行い、令和8年度中の供用開始を予定している。また、西浦地区センターにおいて移転改修工事等を実施し、令和9年度中の供用開始を予定している。

問 まちなかにぎわい創出事業の内容は。

答 中心市街地の回遊性向上を図るため、本町商店街の老朽化したアーケードの撤去や街路灯のLED化など、買物環境の整備に対して補助金を交付する。また、あゆみ橋から御成橋までの狩野川左岸の活用に向け、河川敷を維持管

理するほか、河川敷でのイベント開催に対して補助金を交付することでのぎわい創出を図る。

問 学校給食の質に対する考えと給食費の公費負担の方針は。

答 長引く物価高騰の中で、子どもたちの成長に必要な学校給食の質を維持するために、給食費の単価を現行に対し、約5%増額する。給食費については、国の給食費負担軽減交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用することで、小学校では全額公費負担とし、中学校では保護者負担分を令和7年度と同額に据え置き、保護者の経済的負担の軽減を図る。

予算のここに注目!!

第12回（2月）定例会で可決された令和8年度予算の中から、主な内容を紹介します。

放課後児童クラブ 第2子以降半額に

予算額 6億530万円

放課後児童クラブ運営事業



▲工作中の子どもたち

放課後等に保護者が不在の児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るもので、新たな取組としてより子育てしやすい環境をつくるため、第2子以降の指導料を一律半額に軽減します。

ぬまづファンを 増やす取組

予算額 1億9,700万円

ぬまづ応援推進事業



▲ふるさと納税のPRブース

本市の認知度拡大を図るため、様々なシティプロモーションを実施するとともに、ふるさと納税制度を通じて本市のファンとなった人たちとの交流を深める取組を実施します。

コンビニに AEDを設置

高校生の
請願が実現!

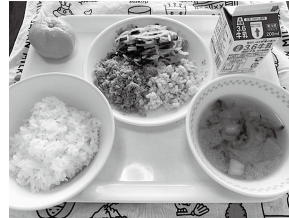
予算額 275万円

いつでも安心AED24時間事業



▲救命救急機器であるAED

市内49か所の24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置し、傷病者の救命率の向上を図ることで、市民の安全・安心の確保に努めます。



▲栄養たっぷりの給食



▲子どもたちのために給食を作る調理師



▲地元の新鮮野菜



小学校の給食費 無償化

予算額 8億7,200万円

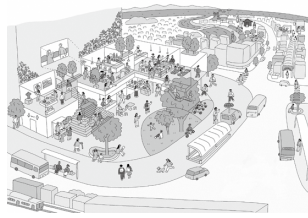
学校給食公会計事業

給食の質を維持するため、1食当たりの賄材料費を増額するほか、本市独自の支援により、給食費を小学校では完全無償化し、中学校では保護者負担を据え置くことで、子育て世帯を支援します。

沼津駅前の にぎわいづくり

予算額 6,780万円

中心市街地まちづくり戦略事業



▲「NUMAZU JAMS」の完成予想図

ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちの創出に向け、西武百貨店本館跡地において「NUMAZU JAMS」の供用を開始するなど、官民連携により公共空間活用にぎわいづくりに取り組みます。

生まれ変わる 中央公園

予算額 250万円

中央公園リノベーション事業



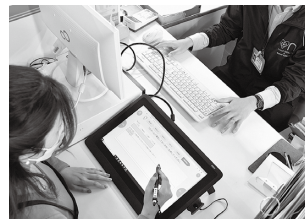
▲中央公園の完成予想図

中央公園をさらに魅力ある空間へ再整備するため、令和8年度末の供用開始に向け、大屋根や上下の広場をつなぐ大階段を設置するほか、芝生広場やトイレの改修等の工事を引き続き進めます。

市民にやさしい デジタル化

予算額 2億2,670万円

DX推進事業



▲デジタル化された窓口手続

市民に寄り添ったサービスを提供するため、窓口手続の効率化を図ります。また、高度な知識や経験を有するCIO補佐官を置き、進化するデジタル技術を効果的に活用し、柔軟に各施策に取り組みます。

主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
予算	議第8号 令和7年度沼津市一般会計補正予算(第10回)	■32億135万3,000円を追加し、予算総額は1,043億3,275万8,000円となります 追加するものは、大岡中学校校舎整備事業費4億2,441万4,000円、自立支援介護・訓練等給付費2億6,700万円、給与改定等に伴う職員人件費等6億3,628万円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として地方交付税などをもって充てるものです。このほか、継続費として金岡小学校校舎整備事業を追加し、第四小学校校舎整備事業及び大岡中学校校舎整備事業の年割額を変更するとともに、繰越明許費として庁舎補修整備事業660万円など38事業を追加し、中心市街地まちづくり戦略事業を変更するほか、債務負担行為として市役所玄関受付案内業務委託費など134件を追加するものです。	可決
契約	議第16号 工事請負契約の締結(沼津市立第四小学校旧校舎解体・渡り廊下棟建設他工事)	■沼津市立第四小学校の旧校舎解体と渡り廊下棟建設などの工事を行います 制限付き一般競争入札により4億5,760万円で大藤建設株式会社 代表取締役 町田直繁と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、沼津市立第四小学校の南西校舎解体と渡り廊下棟建設などの工事を行うもので、完成期限は令和9年11月16日です。	可決
	議第17号 工事請負契約の締結(沼津市民文化センター高圧受変電設備更新工事)	■沼津市民文化センターの高圧受変電設備の更新工事を行います 制限付き一般競争入札により4億7,905万円で株式会社静岡ケイテクノ 代表取締役 相原伸一と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、市民文化センターの高圧受変電設備の更新工事を行うもので、完成期限は令和9年9月17日です。	可決
	議第51号 特定事業契約の締結(沼津市公共施設照明LED化事業)	■沼津市公共施設の照明をLED化します 随意契約(公募型プロポーザル方式)により44億7,500万円でエコライティングワークスぬまづ合同会社 代表社員 株式会社鈴木電気商会 職務執行者 鈴木伯明と特定事業契約を締結するものです。事業の内容としては、調査・設計・施工・設備データベース構築・維持管理の各業務を行うもので、事業期限は令和21年3月31日です。	可決
人事	認第3号 固定資産評価審査委員会委員選任の同意	令和8年3月31日をもって任期満了となる山本誠 ^{やまもとまこと} 氏を再任するものです。	同意
	認第4号～認第7号 人権擁護委員推薦の同意	令和8年6月30日をもって4人の委員が任期満了となることに伴い、尾崎庸夫 ^{おすけ ぶんぷ} 氏、村瀬三千代 ^{むらせ ちかよ} 氏、露木博幸 ^{あさき ひろゆき} 氏、梅田欣一 ^{うめだ けいいち} 氏を、それぞれ委員として再任の推薦をするものです。	同意
	認第8号 副市長選任の同意	令和8年3月31日をもって任期満了となる吉澤勇一郎 ^{よしざわゆういちろう} 氏を再任するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



会派別 賛否が分かれた議案一覧

○：賛成 ×：反対 除：除斥* ()内は人数

	議案名	議決結果	志政会(8)	沼津志帥会(6)	市民クラブ(5)	公明党(3)	沼津市議団(2)	日本共産党(2)	無所属(3)
条例	議第4号 沼津市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
	議第5号 沼津市議会議員の期末手当に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
	議第30号 沼津市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○
	議第38号 沼津市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
	議第53号 沼津市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○
予算	議第8号 令和7年度沼津市一般会計補正予算(第10回)	可決	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
	議第39号 令和8年度沼津市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
	議第40号 令和8年度沼津市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
	議第41号 令和8年度沼津市土地取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
	議第43号 令和8年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
契約	議第50号 工事請負契約の一部変更(沼津市新中間処理施設敷地造成工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○×(2)(1)
人事	認第8号 副市長選任の同意(吉澤勇一郎)	同意	○	○	○	○	×	○	○×(2)(1)
その他	議第23号 指定管理者の指定(沼津夜間救急医療センター)	可決	○除(7)(1)	○	○	○	○	○	○×(2)(1)

※地方自治法の規定により、議員は自己等の一身上に関する事件等については、議事に参与することができないため退席する。

市政について 問う!

一般質問

「代表質問」

第十二回（二月）定例会では、令和八年度の市政に対する代表質問が行われ、五つの会派及び無所属の議員から質問がありました。

※代表質問は「一括質問一括答弁方式」で実施しています。
※無所属議員は、三名以上の会派の了承を得た上で、同会派の発言時間を使って質問することができます。



全ての質問項目
(通告一覧)
はこちら



志政会
浅原 和美

二次保健医療圏域における市立病院の役割と課題は

問 二次保健医療圏域における市立病院の役割と課題についての認識は。

答 市長／市立病院は、二次保健医療圏域における基幹病院として、地域の急性期医療を基軸に、三次救急や小児周産期医療などの行政的医療を担い、周辺自治体も含めた広域的な医療需要を支えるなど、地域医療において極めて重要な役割を果たしている。一方、人材の確保や施設の維持管理、医療機器の更新など様々な負担が生じており、課題解決が求められている。そのため今後も要望や情報共有等を通して、国や県、周

辺市町と連携しながら、地域医療提供体制の維持に努めていく。

問 長年の念願であった鉄道高架本体工事の着手に対する市長の所感は。

答 市長／長年の構想が具現化され、大変感慨深く、身が引き締まる思いである。本工事に着手したことで、市民や民間事業者の期待が一段と高まり、中心市街地の再開発など、まちの更新が加速している。今後も、これまで以上に、国、県、鉄道事業者との連携を強化し、市民の協力を得ながら、早期完成に向け、事業推進を図っていく。



志政会

複合リスク時代における全庁的リスクマネジメント体制は

問 複合リスク時代における本市の全庁的リスクマネジメント体制に対する考えは。

答 市長／地方自治体を取り巻く環境は、人口減少・物価高騰・自然災害の激甚化など、刻一刻と変化し、変革と対応が求められる時代となっており、市政運営に当たっては、時代の変化や課題などを捉えた上で、複合リスクマネジメントの視点を持つて対応していくことが必要であると認識している。そのため、全庁的リスクマネジメントとして、緊急性や重要性、費用対効果などを考慮し

渡邊 博夫

た事業の選択と集中により、重点的かつ効率的な取組を進めていく必要がある。第五次沼津市総合計画に示した施策の推進に当たっては、プロセスマネジメントにより進捗状況等を検証し、PDCAサイクルの徹底を図るとともに、組織体制などに反映している。令和八年度は、危機管理監の直下に防災幹を置き、災害対応体制を強化する。このように、時代の変化や課題を踏まえ、柔軟かつ組織横断的な視点を持って、事業や組織体制などを見直すことで複合リスクに対応していく。

志政会
加藤 明子

市民の負担軽減につながるごみの分別方法の見直しの考えは

問 市民の負担を軽減するために、ごみの分別方法を見直す考えは。

答 市長／全国に先駆けてごみの分別を実施した沼津方式は、市民が先人たちと共に、長年にわたり築き上げてきた誇るべき財産であり、市民の環境に対する意識が高いことの表れである。その趣旨は、今後とも尊重していかねばならないと考えているが、今、行政に求められていることは、高齢者等への対応や自治会の負担軽減をはじめ、将来を見据え、市民だけではなく、本市に移住・定住を考える人や外国人居住者にと



っても分かりやすい分別方法を検討し、実施していくことである。以上のことから、持続可能な社会の実現を念頭に、リサイクルの後退を伴うことのないよう配慮しつつ、誰もが分かりやすい分別方法を再構築していく一方で、段階的に分別を変更した場合に生ずる混乱や市民の負担増を避ける必要があると考えている。そのため令和八年度には、自らが先頭に立って、ごみの分別方法の見直しの検討に着手し、できるだけ早期に、新たな分別方法及び移行時期を示していきたいと考えている。

インフラ整備に必要な財源を確保するための取組は

沼津志帥会

問 インフラ整備に必要な財源を安定的に確保するための本市の取組は、**答** 市長／沼津駅周辺総合整備事業における都市基盤整備や沼津南一色線、東駿河湾環状道路西區間の道路整備は、本市の道路ネットワークの骨格を構築する重要な事業である。特に高規格道路の整備は、市民生活の利便性の向上に資するほか、災害時には、物資の輸送や住民の避難路として機能する。インフラ整備は、周辺の土地利用などの民間投資を生み出し、地域活動が活性化すること

で本市の経済活動に大きく寄与するものと認識している。本市がインフラ整備を着実に進めるためには、財源確保に向けた国や県への積極的な要望活動が不可欠であり、東駿河湾環状道路については、事業主体である国に、整備を推進するための予算を確保してもらう必要がある。こうしたことから、令和七年度も国会議員、市議会議員、経済界、地元自治会と共に、要望活動を実施した。今後、官民の連携を一層強化し、地域の声を直接国や県に届け、安定的な財源確保及び事業の推進に向けた要望活動に取り組んでいく。

浅田 美重子



夢あじの生産・販売等を支援していく考えは

志政会

問 量子計算機時代到来に向けた対応策の検討状況は。**答** 政策推進部長／国は、令和七年十一月に公表した「政府機関等における耐量子計算機暗号への移行について（中間とりまとめ）」の中で、二〇三五年を目標とした耐量子計算機暗号への移行方針を示しており、具体的な移行ステップを示す工程表については、令和八年度に策定される予定となっている。本市としては、国が今後示す工程表や具体的な技術ガイドラインの動向を注視していく。

問 夢あじの生産・販売等を支援していく考えは。**答** 産業振興部長／夢あじは、本市と南房総のみで養殖され、著名な料理人等から高い品質評価を受けているハイブリッド魚で、本市の新たな水産ブランドとなる可能性を有している。今後は、これまで実施してきた養殖体制の整備・強化の支援に加え、関係者と連携しながら、実販売に向けた効果的なプロモーション等に努めるとともに、地域の漁業者の所得向上と本市水産業の発展につながるよう事業拡大に向け、必要に応じて、継続的に支援していく。

小澤 隆



マイナンバーカード関連事務等窓口改善事業に期待する効果は

市民クラブ

問 マイナンバーカード関連事務等窓口改善事業において、マイナンバーカードオンライン窓口及びマイナンバーカード関連申請書自動作成システムを導入することで期待される効果は。**答** 市民福祉部長／マイナンバーカードオンライン窓口は、ビデオ通話により、専用オペレーターが遠隔で手続の支援を行うもので、新規申請または十年目の更新時期を迎える市民のカード交付申請に係る支援のほか、マイナンバーでの各種手続を支援するものである。この新たな申

請窓口の設置により、市民課窓口等における混雑が緩和されることにも、保険証のひもづけなど、目的に応じた各種手続の窓口とすることで、市民の利便性向上が期待される。マイナンバーカード関連申請書自動作成システムは、マイナンバーカードから基本情報を読み取り、電子証明書などの更新手続や暗証番号の再設定などの各種手続に係る申請書を自動で作成するもので、手続ごとに発生する手書きの負担軽減及び待ち時間の短縮により、窓口の混雑解消が期待される。

大草 満



本市の認知度拡大に向けた情報発信の推進は

市民クラブ

問 本市の認知度拡大に向けた情報発信の推進について、①ぬまづ応援推進事業におけるシティブロモーションの取組は、②ふるさと納税を通じた本市の認知度に対する認識は。**答** 産業振興部長／日本最大級のふるさと納税イベント「ふるさとチョイス大感謝祭」や「地元愛物産展」へのイベント出展のほか、令和六年度に発足した「沼津ふるさと応援隊」の各隊員の個性を生かしたインスタグラムやYouTubeによるふるさと納税の返礼品の紹介など、本市の

魅力発信に力を入れている。②令和六年度において、ふるさと納税寄附件数は、約三十六万件となり、令和元年度の寄附件数に比べ約二十三倍に増加するとともに、複数の返礼品が寄附サイトにあって人気ランキング上位に位置するなど、本市の認知度は大きく向上していると認識している。

佐藤 健一郎



▲本市の魅力を発信する地元愛物産展

市民クラブ

深田 昇



問 アスルクラロ沼津について、①これまでの支援の成果は。②令和八年度の支援方針は。

答 市長 ①これまでアスルクラロ沼津に対し、マッチデースポンスーとして沼津マツチの開催や小中学生が全ホームゲームを無料で観戦できるアスポートへの協賛、チームカラーの青いシャツを着て応援の機運を高めるオールブループロジェクト等を実施してきた。これらの取組により、二〇二五年のホームゲームの平均入場者数は過去最高となり選手を後押ししたほか、街中の至るところ

で応援装飾が見られるようになるなど、地域に根差したチームとして市民に受け入れられているものと認識している。②二〇二六／二七シーズンは、JFLでの戦いとなるが、市民の気持ちが離れてしまわないよう、オール沼津体制で盛り上げていく必要があると認識している。アスルクラロ沼津の再挑戦をしっかりと後押しするため、これまで実施してきた取組を継続するとともに、クラブ・関係企業団体・市民と連携しながら、Jリーグへの復帰に向けて全力で支援していく。



アスルクラロ沼津への令和8年度の支援方針は

公明党

片岡 章一



空き家対策について令和8年度の取組は

問 空き家対策について、令和八年度の取組は。

答 都市計画部長 人口減少や少子高齢化などを背景に、増加する空き家問題に対応するため、令和元年度に沼津市空家等対策計画を策定し、空き家対策に取り組んできた。令和七年度で計画期間が終了となることから、社会情勢の変化やこれまでの取組の検証を踏まえ、新たに第二次沼津市空家等対策計画を策定し、令和八年度は総合的な対策をより一層加速させていく。新たな取組としては、空き家の管理や活用に取り組み

NPO法人や民間企業等を空家等管理活用支援法人に指定し、民間活力を生かしたきめ細やかな支援の構築を検討していく。また、空き家が放置される要因の一つである相続登記の未了を解消するため、相続登記に要する費用の一部を補助する新制度を創設し、所有者の明確化と権利関係の整理を促進していく。さらに、空き家の利活用や除却の大きな障壁となっている家財道具等の残置物の処分費の一部を補助するなど空き家の取扱いに苦慮している所有者に対する支援制度を整備していく。

公明党

小泉 宣子



問 学校給食について、保護者の負担を軽減する考えは。

答 教育次長 国は、子育て世帯への支援を強化する観点から、小学校給食の抜本的な負担軽減を実施することとしているが、国の支援のみでは、本市の小学校給食費を無償化することはできない。このため、令和八年度は不足分を市が負担し、小学校給食費の無償化を実現する。また、中学校給食費についても、物価高騰の中で給食の質を維持するため、給食費の単価を増額するが、市が一部を負担することで、保護者の負担額

を令和七年度と同額に維持するなど、今後も子育て世帯に対する支援を継続していく。

問 ひとり親家庭の自立支援について、養育費等の取決め等に対する支援の内容と目的は。

答 福祉事務所長 子どもの健やかな成長を支えるため、確実に養育費を受け取れる体制が必要であることから、公正証書による取決めや調停申立て等に要する手数料、保証契約を結ぶ際の費用に対する支援も行うことでひとり親家庭の生活の安定につなげていく。

日本共産党沼津市議団

川口 慶



学校給食について保護者の負担を軽減する考えは

人口減少社会において移住・定住を推進する取組は

問 移住・定住の推進に向けた今後の取組は。

答 市長 本市では、移住支援として移住希望者に対するお試し移住補助金の新設や交通費補助の対象拡大など、ニーズに即した支援を実施しているほか、定住支援として移住者交流会を開催し、情報交換の場を提供するとともに、移住後の悩みの解消に努めている。また、移住希望者からは、仕事と住居に関する相談が多いことから、「ぬまづ暮らしオアシム隊」と連携し、仕事や住居探しをサポートするとともに、「ぬま

らぶ」等を紹介し、移住後の暮らしの安定を図っている。さらに、「ぬまづ暮らしオアシム隊」には、空き家を賃貸住宅として貸し出し、一定期間経過後に入居者のマイホームとなるプランを提供する事業者もあり、空き家を生かした住まいのマッチングも推進している。なお、セカンドライフを迎えた後の住まい等の心配については、必要に応じて本市の長寿福祉施策を紹介するなど、不安の解消に努める。今後も本市の魅力発信と定住支援を実施し、さらなる移住者の確保と定住促進に努めていく。



結婚や出産に対する多様な価値観・生き方への認識は

問 第五次沼津市総合計画において、結婚支援事業を安心して子どもを産み育てられるまちに位置づけていることについて、①多様な価値観や生き方を尊重した視点に対する当局の認識は。②本事業の位置づけを見直す考えは。

答 政策推進部長／①本市の総合計画においては、安心して子どもを産み育てられるまちを目指し、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てを切れ目なく支援する施策として本事業を位置づけている。現在、家族の在り方は多様化しており、結婚や出産は各

個人が持つ多様な選択肢の一つであるという基本的な認識の下、あくまでも結婚を希望する市民への後押しとして施策を推進していく。②総合計画における本事業の位置づけは、あくまで施策の体系として整理したものであり、人生の標準的な形を示したのではない。結婚支援事業は、結婚を希望する市民への支援の充実を図ることで、その希望をかなえつつ、少子化の抑制にもつなげていくことを目的に実施している事業であり、総合計画における位置づけを見直すことは考えていない。

無所属

平野 謙



本市の人口減少抑制に対する認識と福祉分野における取組は

問 本市の人口減少抑制に対する認識と福祉分野における取組は。

答 政策推進部長／まちづくりの推進に当たっては、本市の活力を維持・向上できるように可能な限り人口減少の抑制を図っていくことが必要であると認識している。このため、第五次沼津市総合計画に基づき、様々な施策を実施していく。

福祉事務所長／福祉分野においては、令和七年度に放課後児童クラブの運営を民間の専門事業者に委託し、開所時間の延長等サービスの充実を図ったことに加え、ゼロから二歳児フ

ラスの保育料について、世帯構成や所得にかかわらず、同一生計世帯の第二子の保育料を一律半額とした。また、高齢や障がい等分野ことの対応が困難な複雑化・複合化した支援ニーズに対して包括的な支援を行う重層的支援体制の整備にも着手した。令和八年度は、市内の二十四時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置するほか、放課後児童クラブの第二子以降の指導料を一律半額にするなど、市民福祉の増進に努め、沼津に住み続けたいと思えるまちづくりを積極的に進めていく。

用語解説



※1 二次保健医療圏 (P.6)

特殊な医療を除く入院医療に対応し、医療機関の機能連携に基づく医療サービスと広域的・専門的な保健サービスとの連携等により、包括的な保健医療サービスを提供する圏域のこと。圏域の設定は、入院・外来受療動向、保健医療資源の状況、交通事情、行政機関・関係団体等の管轄区域等、社会的条件を考慮して都道府県が行っており、本市は駿東田方医療圏に属している。

※2 耐量子計算機暗号 (P.7)

量子計算機及び従来型の電子計算機の双方に対して安全性が確保される暗号のこと。量子計算機でも解読が困難な数学的問題を利用することで、量子計算機による攻撃に耐性を持つとされている。

※3 夢あじ (P.7)

アジ科のマアジとカイワリを掛け合わせて開発された養殖魚のこと。マアジに比べ身が大きいこと、近年の高水温にも対応できることなどが特徴。



※4 ぬまづ暮らしオススメ隊 (P.8)

本市と協力しながら移住希望者の支援を行う個人・団体・事業者のこと。移住希望者に寄り添いながら、官民連携により、移住に資する情報やサービスを提供するなど、移住の計画段階から実際の移住・定住までをトータルでサポートする体制を構築し、本市への移住の促進を図っている。



議員研修会を開催しました

令和8年1月19日、東京都議会議員政治倫理審査会委員 内田一夫氏を招き、『議員のコンプライアンス～「やるべきこと」と「やってはいけないこと」』と題して、議員研修会を開催しました。

研修では、主にSNS上での情報発信などにおいて、法令・倫理を遵守し、市民の信頼を損なわない行動についての解説があり、議員からはコンプライアンスに関する多くの質問が出ました。

本研修で得た知識や気づきを踏まえ、今後の議会活動においてもコンプライアンス意識の一層の向上に努め、市民の信頼に応えられるよう取り組んでまいります。



ピックアップ議会

可決

議第3号 和解について（不当利得返還請求事件等）

市有地の無断使用に係る不当利得返還請求事件と、土地所有権移転登記手続反訴請求事件について、和解の相手方との和解議案が、令和8年2月定例会に提出されました。本議案は、建設水道危機管理委員会において審査した後、本会議において反対意見はなく可決しました。

経緯

長年にわたり駐車場として使用し、利益を得ていたことは不当利得であるとし、市は駐車場代相当額の支払いを求めたが、相手方がこれに応じなかったため、市は議決を得て令和5年11月に提訴した。

- 令和5年10月16日 「議第40号 不当利得返還等請求事件の提訴について」を可決
- 令和5年11月28日 市が訴状を提出
- 令和6年4月17日 相手方が反訴状を提出
- 令和7年12月11日 裁判所が条件付和解条項案を提示
- 令和8年2月24日 「議第3号 和解について」を可決
- 令和8年3月13日 和解成立

裁判の主な争点

- 1 本件各土地の所有権の帰属
- 2 不当利得の当否



和解の要旨

- 1 相手方は、市が本件各土地の所有権を有することを確認する。
- 2 相手方は市に、不当利得返還請求事件の解決金として71万円の支払い義務があることを認める。
- 3 市は相手方に、本件各土地を182万円で売り、相手方はこれらを買受ける。

決 議

議決した「議第3号 和解について」に係る訴訟の終結について、この和解成立後に公表された相手方の主張は、市の答弁内容と重要な点で食い違いがあることから、発議第1号として議員から決議が提案され、令和8年3月17日に可決しました。

※決議とは、議会が行う意思形成行為で、広く対外的に議会の意思を表明するために行われる議会の議決のことです。

令和8年3月13日に和解が成立した不当利得返還請求事件について、 山下議員及び市に説明責任の履行を求める決議

本市と本市議会議員である山下富美子氏との間で争われていた、市有地の所有権や不当利得の返還等に係る訴訟は、静岡地方裁判所沼津支部において和解により終結した。

本件は、市有財産の適正管理、市有地の払下げ、不当利得返還請求という、市民の利益に直結する重大な事案である。しかもその当事者の一方が現職議員であるという特異性を有するため、沼津市議会の監視機能及び議決の正当性に対する市民の信頼を確保するには、特段の透明性と説明責任が求められる。このため、本件和解議案については、慎重に審議の上、議決したところである。

しかし、和解議案審議における市の答弁内容と3月13日に行われた山下議員側による報告集会での声明及び主張との間には、本件土地の所有者に関する説明、不当利得及び解決金に関する位置づけ、反訴放棄の趣旨や紛争終結の理解など、重要な点で食い違いがある。

山下議員側による報告集会においては、「市が登記を怠ったこと」、「市が土地売買に係る金銭を証明する文書を保存していなかったこと」、「市の提訴は無駄であったこと」、「市が話し合いに応じなかったため、提訴に伴う費用が生じたこと」などの主張がなされており、これらは、市の答弁内容と比べ、認識や評価に相違が生じている。また、「議会は反省してほしい」、「市民から負託を受けた議員として何をなすべきかそれぞれが問うてほしい」、「市や議会は裁判所より課された守秘義務を守らなかった」といった主張もあり、市だけでなく議会や議員の対応の在り方についても、疑念や問題意識が示されている。

沼津市議会議員政治倫理規程 第2条 第2項では、「議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれた場合には、その疑惑を解明し、責任を明らかにするよう努めなければならない。」と規定している。本件は、当事者である議員のみならず、議会を構成する全ての議員における説明責任の在り方が問われる事案であり、市民の間に市及び議会や議員に対する不信感や疑念を生じさせてしまう状況を放置することはできない。

よって、本議会は、山下議員と市に、本訴訟について議会に対して説明することを求める。

なお、本決議は、既に成立した和解の効力に影響を及ぼすものではなく、沼津市議会議員政治倫理規程における説明責任を全ての議員が果たすための意思表示である。

以上、決議する。

令和8年3月17日

沼 津 市 議 会



第五小学校
6年

すぎうら さくと
杉浦 朔人さん

わたしたちの ゆめ たから

片浜小学校
6年

ばんどう りん
板東 凛さん

私のたから「家族」

私のたからは家族です。家族とたくさん話をしている時が幸せです。例えば、家族が集まってトランプやゲームをしている時が楽しいです。みんなで遊んだり話したりしている家の中にはたくさん笑顔があります。のんびりみんなで過ごす時間が宝物です。他にも相談にのってくれる事です。家族や習い事、生活をしていくための大切な相談にのってくれるので、心のもやもやも晴れます。けんかをした時、怒られたり、いろいろあるけれど、私の家族は私を安心させてくれる大切な存在です。

将来の夢、未来のこと

ぼくの夢は、ロボット設計技術者になることです。今、お掃除ロボットや子供用のロボットなど、急速にロボットが普及しています。ぼくは、人のためになるロボットを作りたいと思っています。例えば、電気を生み出すロボットや二酸化炭素をエネルギーにするロボットなどです。そんなに簡単に開発できないと思う人もいると思います。その通りで、高い技術とばく大な予算が必要です。ですが、この技術が実現することで、笑顔になる人がいるのも事実です。だから、ぼくは、ロボット技術者を目指します。

本会議中継



本会議のライブ中継映像のほか、過去の録画映像を配信

もっと

議会を知るには

見て確認
聴いて確認



委員会中継 YouTube



委員会の録画映像を配信

沼津市議会 定例会の予定

定例会		開会予定日	閉会予定日
令和8年	第13回(6月)	6月 5日(金)	6月 29日(月)
	第14回(9月)	9月 4日(金)	10月 8日(木)
	第15回(11月)	11月 19日(木)	12月 14日(月)
令和9年	第16回(2月)	2月 8日(月)	3月 16日(火)

※都合により変更する場合があります。
※日程の詳細は、招集告示日(定例会開会1週間前頃)に開かれる議会運営委員会で協議されます。



市議会だよりの発行日が変わります

広報ぬまづの発行が月1回となったことに伴い、市議会だよりの発行を6月、9月、12月、3月の各1日発行に変更します。

議会だより次回発行予定
令和8年9月1日



市議会だより

年4回発行しています。
注目すべき議案や議決結果のほか、一般質問や答弁内容を見ることができます。

読んで
確認



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより編集委員会

委員長 尾藤 正弘
副委員長 小澤 隆

委員 高橋 秀子
委員 佐藤健一郎

委員 大川敬太郎
委員 小泉 宣子

・表紙写真は、編集委員会委員が撮影しています。